



平成30年5月17日(木)
国土交通省 関東地方整備局
港湾空港部

「第6回 羽田空港における地盤改良に関する修補検討委員会」 の開催結果について

記者発表資料

関東地方整備局は、施工不良のあった地盤改良工事の修補を確実に実施するため、具体的な工法の選定、結果の評価等に関する技術的助言を得ることを目的として、平成28年9月より有識者からなる検討委員会を設置し、所要の検討を進めているところです。

今回、平成30年5月16日に「第6回 羽田空港における地盤改良に関する修補検討委員会(委員長:善功企 九州大学名誉教授)」を下記のとおり開催し、『現地試験施工の結果を踏まえ、E6及びH誘導路の修補工事を浸透固化処理工法^{※1}及び高圧噴射攪拌工法^{※2}で実施することについては妥当である。』との意見を頂きましたので、お知らせ致します。

記

1. 開催日時:平成30年5月16日(水)16:00~17:30
2. 開催場所:横浜第二合同庁舎 14階141・142会議室
3. 委員会の開催報告:

本委員会における開催報告は、関東地方整備局ホームページ(以下URL)の「最新のお知らせ」に掲載しています。

<http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/index.html>

※1 浸透固化処理工法 : 薬液を地盤に注入することにより、地盤改良する工法。

※2 高圧噴射攪拌工法 : 高圧噴流水(水+硬化剤)により、地盤を攪拌・混合して地盤改良する工法。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ・神奈川建設記者会・横浜海事記者クラブ

問い合わせ先

関東地方整備局 港湾空港部

港湾空港企画官 原田 卓三(はらだ たくみ)

空港整備課長 今野 頼夫(こんの よりお)

電話 045-211-7421

第6回 羽田空港における地盤改良に関する修補検討委員会

議事概要

日時：平成30年5月16日(水) 16:00～17:30

場所：横浜第二合同庁舎 14階 141・142会議室

出席委員：善委員長、春日井委員、小濱委員、佐々委員、林委員、水谷委員、山崎委員

議事次第

- ・現地試験施工の実施状況について
- ・現地試験施工の結果及び評価について
- ・その他

<議事概要>

第5回委員会にて報告することとなっていた、E6誘導路及びH誘導路における浸透固化処理工法及び高圧噴射攪拌工法による現地試験施工の実施結果について事務局より報告し、以下の意見を頂いた。

- 現地試験施工の実施結果を踏まえ、E6誘導路及びH誘導路における修補工事を浸透固化処理工法^{※1}及び高圧噴射攪拌工法^{※2}で実施することは妥当である。
- 浸透固化処理工法の施工管理にあたっては、PDC試験^{※3}により改良効果を確認するとともに、ボーリングにより採取した供試体による一軸圧縮試験等を実施し、PDC試験の結果との相関を確認すること。
- 高圧噴射攪拌工法については、ボーリングにより採取した供試体のフェノールフタレイン反応及び一軸圧縮試験により改良効果を確認すること。あわせて、弾性波探査(クロスホール法)により出来形を確認すること。
- 今回の修補工事において得られた知見については、将来の地盤改良技術の発展にも繋がるよう、情報を整理しておくとい。

※1 浸透固化処理工法：薬液を地盤に注入することにより、地盤改良する工法。

※2 高圧噴射攪拌工法：高圧噴流水(水+硬化剤)により、地盤を攪拌・混合して地盤改良する方法。

※3 PDC試験(ピエゾドライブコーン試験)：間隙水圧を測定できる動的コーン試験により、強度(N値)、細粒分含有率を同時に推定できる調査手法。

なお、今後関東地方整備局において、修補を確実に施工するため、技術的助言が必要であると認められた場合には、本検討委員会を開催するものとする。

羽田空港における地盤改良に関する修補検討委員会

【委員構成】

委員長	善 功企	九州大学 名誉教授
委員	春日井 康夫	(一財)沿岸技術研究センター 代表理事・専務理事
	小濱 英司	港湾空港技術研究所 耐震構造研究グループ長
	佐々 真志	港湾空港技術研究所 動土質研究グループ長
	坪川 将丈	国土技術政策総合研究所 空港施設研究室長
	林 健太郎	(一社)日本埋立浚渫協会 技術委員会 埋立地の地盤改良に関するWG座長
	水谷 崇亮	港湾空港技術研究所 基礎工研究グループ長
	森川 嘉之	港湾空港技術研究所 地盤研究領域長
	山崎 浩之	港湾空港技術研究所 特別研究主幹

※港湾空港技術研究所 : 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所

※委員については、五十音順。